

# 第二十五回前田純孝賞学生短歌コンクール入賞作品一覧

【中高校生の部】

前田純孝賞

自分より大きな機械操作してとても小さい部品を作る

鹿児島県立鹿児島工業高等学校

一年 杉原和磨

【選評】

実習の授業で何かの部品を製作している場面です。自分の身体を基準にして、一首の中で「大」と「小」をつましく対比し、読者にも伝わるように表現した言葉感覚がみごとです。どんな部品ができたのか。作者のきらきらした好奇心が読める点も、短歌として上質です。

いとおかしきとつづくしきいとわろしいとがいつぱい古典の授業

大阪府立夕陽丘高等学校

一年 佐護大輝

【選評】

古典の授業に取材した取材感覚のするどさに感心しました。短歌は取材が一番たいせつな詩なのです。古文を習いはじめて、それまで聞いたこともなかった「いと」が、次々と出てきた驚き。『枕草子』では第一段に早くも「雁などのつらねたるが、いと小さく見ゆるは、いとをかし」など五回も「いと」が出てきます。

準前田純孝賞

寒くなりスノーボードが歌い出す雪が降る日はまだかまだかと

兵庫県新温泉町立夢が丘中学校

三年 巽 流唯

橙の夕日が照らす教室は鳴き声のない鳥の巢のよう

鳥取県立八頭高等学校

二年 佐藤瑠星

雲達も僕らと一緒に泳いでるところまでもつづく夏空のプール

大阪府立寝屋川高等学校

二年 木俣青波

選者賞

柔道の最後の試合一本負けたたみの上で天井を見る

鹿児島県立鹿児島工業高等学校

一年 俊岡仙斗

水玉のランドセルをね背おうんだ小さい君はてんとう虫だ

岐阜県川辺町立川辺中学校

二年 安田心美

いつもより空が広がってあらためて走り幅跳びやめたくない

埼玉県立越生高等学校

一年 作田朱加

七階の窓から見える校庭と夕陽と山とあべのハルカス

大阪府立夕陽丘高等学校

三年 安齋快社

カツカツとチョークの音がこだまする一時停止の授業のスキマ

兵庫県神戸市立六甲アイランド高等学校

二年 松本乃愛

新温泉町長賞

紺色のセーラー服は私たち今限定の戦闘服だ

放課後の静まりかえる教室は夕日さし込みまるで別世界

公式戦ピリピリ空気充滿する響き渡ったホイッスル

まっすぐに並ぶ桜の美しさ見上げて歩く一人で歩く

悪人が自分の姿を消すように自分の弱さを隠すわたし

ねちゃだめとわかっていてもねてしまつ水泳の後の国語の授業

気がつけば赤い色へと変わる山半分過ぎたなこのクラスとも

パレットに広げた絵の具が次々と思ひ出たちを輝かせてく

初めての大学見学食堂のハヤシライスは普通においしい

本よりも君の心が読みたいな私にとっては超難解

新温泉町教育長賞

2点差で残り2秒で来たボールスリーポイント決めろおれの手

秋の朝神社の前にきりん獅子さあ始まりだきりん獅子舞

吹奏楽冬は楽器がつめたくて暖まった頃練習終わる

五限目に私をさそつエトセトラ偉人のひげよ文月の雲よ

波止場での行くぞと響く船の声応じて飛び立つかもめのはばたき

大空にうすくたなびく千切れ雲君の空にも見えるといいいな

授業中かすかに聞こえる機械音クレーンが窓から僕を見にくる

沖繩県立読谷高等学校

二年 津波実菜望

大阪府立猿津高等学校

二年 砂田知穂

兵庫県立尼崎高等学校

二年 竹内 楓

兵庫県三田市立狭間中学校

三年 今井愛菜

鳥取県立八頭高等学校

二年 岡垣 空

大阪府立港南造形高等学校

三年 金 紗耶

兵庫県立浜坂高等学校

二年 寺川空汰

大阪府立寝屋川高等学校

二年 村尾優衣

群馬県桐生市立商業高等学校

三年 関口 翔

大阪国際滝井高等学校

三年 田淵希奈

大阪府立猿津高等学校

二年 野田劍悠

兵庫県立浜坂高等学校

一年 西澤 咲

兵庫県新温泉町立夢が丘中学校

三年 森田忠成

富山県立砺波高等学校

三年 森田陽菜

兵庫県神戸市立星陵台中学校

二年 尾寺亜美

大阪教育大学附属平野中学校

三年 古閑愛望

鹿児島県立鹿児島工業高等学校

一年 高橋 匠

「好きだ。」と言えば増しく田舎感かわいさも増す但馬弁だ。

兵庫県立浜坂高等学校

三年

山本涼音

宿題に追われる日々に終止符を進路を決めて覚悟を決めて

沖縄県立読谷高等学校

二年

大城エナ

夏野菜収穫終わり畑には足跡だけがぽつんと残る

長野県上伊那農業高等学校

三年

藤森日菜

### 神戸新聞社賞

初夏の朝鳥と草木がしゃべってる夏が来たなとしゃべってた

大阪教育大学附属平野中学校

二年

池 若葉

えんぴつがどンドン短くなっていく捨てたくないな努力の証

大阪府立摂津高等学校

二年

安田琳香

ふたりともつまく転生できるならシーラカンスの夫婦がいいな

埼玉県星野高等学校

二年

野城知里

君の瞳が僕をうつしたその時に胸がはじけた音がしたんだ

兵庫県立尼崎高等学校

二年

貴島桃果

また生えた点字ブロックの隙間からはぐれアサガオ踏まないように

大阪府立寝屋川高等学校

二年

中川晃汰

練習後感謝を込めて整備した絵画のようなグラウンド

鳥取県立八頭高等学校

二年

坂本 陸

スマッシュがバシリと決まる動けない相手はケモノの目で私見る

兵庫県新温泉町立夢が丘中学校

二年

上坂真衣

あいうえお新しく学んだわゆるを奇妙でもあり美しくもある

大阪教育大学附属平野中学校

一年

安 愉羅

合格にショートカットはなかりけむ日々の努力を試験で示す

大阪府立夕陽丘高等学校

三年

重成歩夢

休み時間だあれも話しかけて来ず崖の端っこに咲く花のよう

埼玉県立越生高等学校

一年

紺野希空

### 佳作

響く音いつかは消えるその時に君と私は思い出の中

兵庫県立尼崎高等学校

二年

高木芽生

休みの日久しぶりに行くばあちゃん家小さい時は良く赤飯を食べた

兵庫県立尼崎高等学校

二年

坂口大侑

緊張して入った正門もあとすこし今は見慣れた長い黒板

兵庫県立尼崎高等学校

二年

梅川福世

ホルンの音大きく息を吸いこんだ澄みきった空冬の放課後	大阪府立寝屋川高等学校	二年	川根菜央
1ミリもペンは動かぬ僕もあの空色の目の猫になれたら	大阪府立寝屋川高等学校	二年	上田彩花
何故だろう部活が終わったこの夏は何か足りない何故か寂しい	兵庫県三田市立狭間中学校	三年	川田寛人
雲さえも起きぬ早朝走りだす今だけこの空わたしのものに	福島県福島市立福島第二中学校	二年	紺野七菜子
納豆はたくさん物と仲良しだ薬味の個性が七変化	福島県福島市立福島第二中学校	二年	武田汐里
最後に勝負に勝ったうれしきとどこか悲しいサーブスエース	鹿児島県立鹿児島工業高等学校	一年	高木翔太
墓参り祖父のお墓に焼酎をかけて思い出す祖父の飲む顔	鹿児島県立鹿児島工業高等学校	一年	山形健斗
いつからか書けなくなった自分の特技じつとみつめるまっ白な紙	鹿児島県立鹿児島工業高等学校	一年	馬庭利彦
溪流の澄んだ水に竿を投げ見えぬ獲物と我慢比べす	鹿児島県立鹿児島工業高等学校	二年	大垣駿貴
どげんした？田舎の牧場の祖父と牛鹿児島弁と目で会話を	鹿児島県立鹿児島工業高等学校	一年	北園和也
ボイラーの試験勉強繰り返し返しペンのインクも無くなってくる	鹿児島県立鹿児島工業高等学校	二年	竹井陽大
そこにあるドアを開けると落ちつくよつくえのにおいみんなのにおい	大阪教育大学附属平野中学校	一年	城陽
新しい家族が一人増えた夏きれいな花がパカんと開く	大阪教育大学附属平野中学校	三年	中西麻翠
にちぼつのあかくなかがやくにしのおみむしんになってたそがれていた	沖縄県立読谷高等学校	二年	山内一慧
学校の中だけ重力変わってる足取り重いテスト前日	沖縄県立読谷高等学校	二年	田場 旭
ジャムや味噌トマトジュースを加工したレアな経験進路へ生かす	長野県上伊那農業高等学校	三年	竹内悠雅
四巡目彼の名前が呼ばれたの嬉しいけれど寂しいドラフト	大阪府立寝津高等学校	二年	松岡朋歩
うれしいな生まれ育ちが関東のあなたの口からふと関西弁	大阪府立寝津高等学校	二年	小味山結菜

誰もいない公園で一人ボール蹴る俺の友達サッカーボール

大阪府立摂津高等学校

二年

松本怜馬

ライブ前の開演を待つあの時間ライブ中より好きかもしれない

大阪府立摂津高等学校

二年

宮本 咲

そこかしこあまからじょうゆたちこめる春の訪れいかなこくぎに

兵庫県神戸市立星陵台中学校

二年

川崎花音

右足を出しては引いて何回目覚悟を決めろいざ職員室へ

埼玉県昌平中学校

二年

伊藤 碧

風が吹き道の周りに春の雨少し寂しく過ぎていく春

千葉県立八街高等学校

二年

野呂聖奈

海沿いのはまかせの吹く漁師町静寂にひびくディーゼルの音

兵庫県立浜坂高等学校

三年

中村真弥

テスト中君が隣にいてだけで解ける気がするどんな はてな ? も

京都府立洛北高等学校

二年

阪口 歩

憧れの紫を背に立つ舞台伝えてあげたい去年の私に

大阪府立夕陽丘高等学校

一年

亀田夏実

今日もまたいつもの猫を待っているまえばこんなに独りじゃなかった

大阪府立夕陽丘高等学校

一年

萩原なな子

どうしよう何を書こうか詠おうか目指してみよう前田純孝

大阪府立夕陽丘高等学校

三年

北村向日葵

### 【大学生の部】

前田純孝賞

飛び込んで包み込まれる海の青浮かんで気付くわたしはヒトだ

青山学院大学

二年

米子 恵

### 【選 評】

船からか飛込台からか、海に飛び込んだのですね。海中では魚の気分だったけれど、浮かんで顔をあげた瞬間に、あつ魚ではなかった、と気づいたわけです。エラ呼吸できないのはわたしがヒトだからだ。瞬間的にでも「私はサカナかな?」と感じた作者の詩的ひらめきがすばらしい。

準前田純孝賞

体育祭のブロック演出のTシャツにみんなの「夏」が寄せ書きされている

就実短期大学

一年

藤吉千鶴

すきを見てつまんだ朝の苺「まだ怒ってる?」ってメールしたいな

京都市立芸術大学

四年

土屋さおり

選者賞

広大な千人の森の青い葉にゆったり近づく眩いアオサギ

就実大学

三年 渡邊百香

台湾語しか話せない祖母が笑う「笑う」という字を知らない祖母が

青山学院大学大学院

二年 黄 郁婷

憧れの看護師目指し頑張ると心に決めた桜の季節

川崎医療短期大学

一年 福本理絵

新潟県町長賞

髪をまとめ白衣を着ては実習へ資格はないが気分はナース

川崎医療短期大学

一年 三橋可奈子

みめたさん呼ばれて自分と気づかない先生私目見田なんです

川崎医療短期大学

一年 目見田ゆき

実習の最後にぎゅーっとハグをしたはなれないよと言葉をくれた

頌栄短期大学

二年 阪田紀乃

新しい家族なんだからお掃除のロボットにスウちゃんと言付ける

青山学院大学

三年 加藤美帆

シャクナゲは真紅が多き隠岐の島「後鳥羽の道」の初秋を彩る

就実大学

二年 村上史浩

新潟県町教育長

「行ってきます」わかっているのに口にする鏡の中の私に向かって

川崎医療短期大学

一年 泉 結衣奈

お昼寝はオルゴールかけ部屋暗く寝静まる子ども記録書くわたし

頌栄短期大学

二年 鯛 愛音

放課後のチャペルに響くハンドベル静かな学び舎染み渡る音

頌栄短期大学

二年 平野杏実

塾講師から学生に戻るのに五分くらいはかかってしまっ

松山東雲女子大学

二年 壬生彩香

望郷のあたたかき日は蜜柑の名「きよみ」や「はるみ」を祖母のよう呼ぶ

梅光学院大学

四年 西村 剛

神戸新聞社賞

尾道の坂知り尽くす猫たちが千光寺までの道案内だ

川崎医療短期大学

一年 村上沙耶

「先生が おらんだったら さみしいわ」子どもの言葉最高評価

頌栄短期大学

二年 今西こなみ

チャイム鳴り授業のはじめは手遊びで保育士になる引き出し増やす

頌栄短期大学

二年 岩本千佳

マールライオンに会いにはいかず故郷の味をとチャイナタウンへ向かう

青山学院大学

三年 李 静誼

生木はな、燃えにくいよと老人が顔赤らめるとんどの夜は

大阪薬科大学

一年 岡田櫻良

佳作

該当作品なし

### 【学校表彰の部】

#### ◆学校特別賞

鹿児島県立鹿児島工業高等学校

大阪府立摂津高等学校

大阪府立夕陽丘高等学校

#### ◆学校賞

大阪教育大学附属平野中学校

大阪府立寝屋川高等学校

大阪国際滝井高等学校

兵庫県立浜坂高等学校

沖縄県立読谷高等学校